

勝高同窓会報

2013年10月
第23号



昭和32年 体育祭

平成25年 体育祭

ご挨拶

勝山高等学校長 道 下 賢祐



の内定をもらっています。

部活動面では、部活動への加入率が非常に高く、多くの生徒が熱心に活動しています。運動部では、全国トップクラスのバドミントン、スキーはもちろん、バレーボー

ル、陸上をはじめとしてどの部も頑張っています。御存じかと思いますが、スキー部では、昨年度インターハイのクロスカントリーで宇田彬人選手が優勝しました。バドミントン部は、今年度男子も女子もインターハイに出場し、女子が学校対抗で三位、シングルスにおいても山口茜選手が優勝と頑張ってくれました。山口茜選手は日本バドミントン協会の二〇一三年日本代表選手に選ばれており、数々の国際大会でも優勝、準優勝など成績をあげています。

一方、文化部の活躍も目覚ましいものがあります。大同窓会でもその演奏をお聞きいたい吹奏楽部は福井県吹奏楽コンクールで金賞を受賞しました。日本文化部は福井県代表として全国高等学校総合文化祭に出場しました。

このような成果をあげることができたのも、同窓生の皆様方、OB、OGの皆様方の御支援の賜と感謝しております。

最後に、皆様の後輩は皆様が築き上げた伝統を守るために日々頑張っております。今後とも御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本校の概況を申し上げますと、進路面では、今春卒業した生徒をとつても、京都大学、神戸大学というような難関大学、金沢大学、福井大学、福井県立大学といふような地元大学をはじめ多数の国公立大学、私立大学に合格しています。また、就職も北陸電力やJ.R.、地元企業などから一〇〇%

退任のご挨拶

小泉 信太郎

(第16回・39年卒)



この八月の総会で任期満了を迎えることになりました。多くの方々のご協力を頂き何とか役を果たせたことを心から感謝いたします。勝山高校創立以来六十六年間、同窓会は一貫してボランティアの心と活動によって支えられてきました。この間、三十周年記念事業、五十周年記念事業を同窓会、PT

A、学校の三者で実施してまいりました。そして平成十一年以降毎年八月に勝山において大同窓会を開催しております。継続は力なりといいますが、近年は勝高の日本文化部や吹奏楽部の生徒さんにも参加いただいております。また、東京勝高会へは二年毎の総会に市長さんと一緒に参加させていただいているのも楽しい思い出です。

八年間の間で直面した最大の問題は、個人情報保護法が制定されたことにより、同窓会会員名簿の管理のあり方や会員住所の更新が可能かどうかということでした。

会員がどこにいるのか分からぬようでは実質的に同窓会は存在しないのと同じではないか、このままではいずれ同窓会は自然消滅するのではないかという心配をした

変でした。これらのことを通じて、会員の方々の暖かい言葉、お気持ちはどれだけ勇気づけられたとか、これからもどうか引き続き勝高同窓会に心をお寄せください。ありがとうございました。

就任のご挨拶

阿 部 光 郎

勝山高校同窓会会长

(第22回・45年卒)



同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のことと拝察いたします。

また、日頃より同窓会運営にご支

援、ご協力を賜り厚く御礼申し上

げます。

さて、先般八月十一日に開催さ

れました平成二十五年度大同窓会

総会において役員改選が行われ、

これまでの運営にご理解いただき

てください。

同窓会本部として、

一、東京勝高会と、さらに連携を

深めます。二、休止中の関西勝高会や設立準備中に消滅した東海勝高会の再建・復活に支援します。

そして勝山高校に対し引き続き

教育振興と環境整備に支援を行

っております。

同窓会本来の目的である会員相

互の交流と親睦が行われることを

期待しております。

また、世代交代に伴い若い方の

同窓会活動への参加を呼びかけ、

活性化を図っていきたいとも思つております。

最後になりましたが、八年内会

長としてご尽力いただきました小

泉前会長に感謝の意を表しますと

共に会員の皆様にはより一層の

ご理解とご協力ををお願い申し上

げ、就任の挨拶とさせていただき

ます。

ものであります。このためいろんなこと

をやりました。これまで学校にお

願いしていた事務局を同窓会の責

任で運営するとか、名簿の更新は

二年がかりで委員の皆さん個々

に説明をしながらコツコツ更新作

業をするとか。これはなかなか大

変でした。これらのことを通じて、

会員の方々の暖かい言葉、お気

持ちはどれだけ勇気づけられ

たことか、これからもどうか引

き続き勝高同窓会に心をお寄せく

ださい。ありがとうございました。

このためいろいろなことを

おこなうことを

平成25年度大同窓会について



実行委員長 天立雅浩（第38回・61年卒）

平成二十五年八月十一日、勝山市教育会館において、第十五回勝山高等学校大同窓会が開催されました。

今回は、幹事学年のうち、実行委員長という重責を担うこととなり、第一回の実行委員会の時から不安な気持ちでいっぱいでした。

しかしながら、勝山高校大同窓会の小泉会長をはじめ役員の方々、事務のお手伝いをいたいた勝山高校の大同窓会担当の先生方、そして、今回ともに幹事学年として準備をして、いたいた、昭和四十一年卒、五十一年卒、六十一年卒、平成八年卒の学年委員、クラス委員の方々のおかげで、無事開催することができました。改めてお礼申し上げます。

さて、当日は同窓会総会の後、多くの来賓の方々、恩師の先生方、また、各地から参加をいたいた卒業生約百名が見守る中、勝山高校吹奏楽部のみなさんの演奏で懇親会が始まりました。まずは、「勝山高校校歌」から始まり、「マーチブルースカイ」、「マードックから最後の手紙」の合計三曲を演奏していました。勝山高校といえばバドミントンというイメージが強いようですが、吹奏楽部も決して負けていないと思います。

ちなみにこの大同窓会の日には、バドミントンの山口茜選手がインターハイの女子シングルスで優勝した日でもあります。その一報が会場に届いた時には、大きな拍手が沸き起こりました。

このような後輩たちの活躍に感心しつつ、懇親会が進み、終始和やかな雰囲気の中、久しぶりに会う旧友との昔話を花を咲かせたり、卒業期を超えた同窓の仲間同士で酒を酌み交わしたりして、二時間という時があつという間に過ぎて行きました。

恒例の抽選会も、たくさん企業、個人の方々から景品を提供していただき、その多さから予定の時間を超えてしまうほどで、参加された方々にも満足していただけたのではないかと思いました。

今回景品を提供していただきました方々に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

懇親会の最後には、参加者全員で勝山高校校歌をフルコーラスで歌い、次年度の実行委員長のあいさつと万歳三唱でお開きとなりました。

今回の大同窓会は、開催日の日曜日とお盆休みとの間が開いてしまったことからか、例年に比べて参加者数が少なかったようです。次回はたくさんの卒業生が参加して、盛会になることをお祈りしております。



東京勝山会

平成25年11月11日(日)
新宿 銀座ライオン

関西勝山会

平成25年11月23日(土)
都島区 大閻園

第11回 東京勝高会

開催日：平成26年5月17日(土)・開宴12時
会 場：ワシントンホテル本館2階 クローバー宴会場
新宿区西新宿3-2-9

会 費：5,000円

関東地区に限らず、全国からのご参加、大歓迎いたします。校長・同窓会長・市長・恩師とふるさとの話をしよう♪♪

勝高同窓会座談会

参加者

- 東京勝高会
金子 由成さん
上杉 哲郎さん
- 関西勝山会
松下 一栄さん
- 勝山高等学校
松田 淳子さん
岸 康平さん
- 勝高同窓会
白木 利明さん
山岸 登美子さん



俺たちの勝高時代



山岸 登美子さん

山岸 進行役の山岸です。自己紹介からですが、第32回卒で生まれてからずっと勝山在住です。勝高の硬式テニス部を立ち上げたことが思い出です。

金子 第9回卒業で昭和31年に生徒会長をし、野球部に所属していました。

松下 金子さんと同じ第9回卒業で、野球部のマネージャーもし、生徒会の会計もやらせていただき、金子さんは縁深かったです。

上杉 第28回卒業で、高校卒業からふるさとを離れましたが、勝山のまちなかが随分変わったと思います。高校、大学と山岳部に所属していました。

松田 第40回卒業で、福大を卒業して教師になります。現在、勝高にいます。

岸 現在、生徒会長をしています。

今、勝高はバドミントンやスキーなど全国大会で良い成績を残しているので、これからも続いて欲しいです。白木 第33回卒で平成5年に勝山に戻り、家業の機屋を継いでいます。8年前から同窓会に参加しています。高校時代には専ら帰宅部でした。

しようと座談会を企画し、今日は幅広い年代の方にお集まりいただきました。テーマは「俺たちの勝高時代」です。まずは、思い出に残る出来事からきかせてください。

松下 我々の頃は、中学一年時に勝高、勝中と火災に遭い、勝高入学時は長山下の新校舎でした。桜の咲く頃には長山公園で宴会があり、授業をさぼって長山に上がつたりもしました。また、当時は下駄を履く人がほとんどで、ズックを履くのは修学旅行の時くらいでした。修学旅行は、宮島、熊本阿蘇を巡り、別府からフエリーで大阪にて帰ってきました。



松下 一栄さん

岸 今は、飛行機で沖縄に行っています。

松下 私たちの頃は、沖縄に行くのにパスポートが必要でした。

山岸 時代の変遷を感じますね。金子さんの頃の生徒会はどうでしたか。

松田 第1回目の昭和31年の春の選挙は、立候補者が過半数を獲得できず再選挙となり、その時先生から出ると言われ生徒会長になつた経緯があります。生徒会活動は自主自立がモットーでした。何でも積極的に取

り組み、交流活動でソフトボールが県で優勝し、硬式野球が3位になります。



金子 由成さん

り組み、交流活動でソフトボールが県で優勝し、硬式野球が3位になります。

上杉 30年前ですが、バドミントンでは、我々の1級上の長谷川さんがインターハイで2年連続優勝し、同級生と長谷川さんとのダブルスも優勝しています。

山岸 バドミントンは、その頃から強かつたんですね。

松田 今、硬式テニス部の男子部員がすごく多いんです。

白木 男子硬式テニス部が県のベスト8になつた時期もありましたね。

山岸 岸さんは、部活は何でしたか。

岸 陸上部に所属していました。

松田 私は、合唱の同好会を作ろうとしましたが、体育祭に力を入れすぎ、同好会が疎かになり立ち消えとなりました。硬式テニス部を立ち上げた山岸さんは凄いなと思います。

上杉 体育祭と言えば、夏休みの途中から竹を切りに行き、本格的にしっかりと張りぼてを作つたものです。

白木 家の倉庫で竹を組んだりしたことありましたね。



上杉 哲郎さん

山岸 体育祭では、応援歌を声高らかに歌いましたね。

金子 チームで歌うことは無かつたですが、クラスには寮歌が大好きな人がいて、毎日昼休みになると集まって、何十人かで旧制高校の寮歌を歌っていました。たぶん、これが発展して、チーム対抗の歌合戦になつたのだと思います。今は、どうですか。

白木 曲は、今時のものですか。

岸 去年は「青い山脈」を使ってます。

山岸 体育祭の練習になると、先輩からもつと大きい声を出せと叱られ厳しかったんですけど、今では良い思い出です。

松下 我々の頃は、大野や丸岡から体育祭に招待されました。富山の滑川の方からも来てましたよ。

金子 昭和30年頃、若杉校長が赴任

され勝高を進学校にしようと、齊藤慶四郎先生や飯塚先生が中心になり、補習授業が始まり文武両道に取り組みましたが、今は進学一筋ですか。



松田 淳子さん

山岸 先生のお話がでましたが、「名物先生」と呼ばれるような方はいらっしゃいましたか。

金子 化学の担当で野球部の部長をしていました。パンを売るために授業が終わる前に食事をしていたら見つかり、教室を追い出されました。新人の担任の先生で山岳部の顧問をしていた先生は、パチンコで稼いだ話をよく聞かせてくれました。

山岸 先生も、いろいろですね。進学の状況はどうでしたか。

金子 進学クラスは部活動中でも補習を受けろと言われました。おかげで、県模試で県の1、2位が勝高生でした。32年卒は国公立の合格者が東海北陸でトップだったと聞いたことがあります。

松田 今でも、進学校は健在ですよ。

金子 学校祭は盛大ですか。

松田 勝高は、県内で学校祭を一生懸命やっている高校の一つです。

白木 受験の関係で、体育祭と文化祭を夏休み明けにやっています。

山岸 思い出話は尽きないです。最後に、東京や大阪で同窓会はどういう活動をされていますか。

金子 昭和62年に第1回の総会を開き参加者は256名でした。福田一さんや平泉渉さんも参加されました。第6回までは2年おきに開催され、参加者は2百名前後でした。訳がつて、第7回が少し期間をおいて開催されたときには、関西勝高会からバス1台に乗って駆けつけてくれましたし、勝山からの参加もありました。皆さん、地域を離れ懐かしく思う中で、気心の知れた方との対話を求めて集まって来られます。

松下 大阪では、勝高会を3回やりましたが、世話役が体調を崩し、それ以降開催されていません。数年前から復活しようとしていますが、行動できる人が少ないので現実です。若い方を探しているので、関西のお友達を紹介してもらえると有難いですね。この11月には、金子さんにゲストで関西勝高会に参加していただく予定です。



岸 康平さん



白木 利明さん

白木 東京では、知人同士で集まっていますが、勝高同窓会のことは知らない方もいるようです。最近同窓会名簿がしっかりと整備されました

ので、総務委員会まで連絡くださいとお手伝いできると思います。

上杉 今度の会報に、東京勝高会のお知らせをし、関心のある方に連絡先を提示してはどうですか。電子メールを活用する手もあり、若い人同士は連絡を取り合っているので、きっかけ作りをされてはどうかと思います。

金子 東京勝高会の名簿では、千通出して三百通戻つてきましたが、勝高同窓会名簿の話を知り、第十回の通知は、勝高同窓会に発送してもらいました。

白木 勝高同窓会のホームページもご覧いただき、情報発信の場に活用いただきたいと思います。

山岸 岸君も卒業すれば勝高同窓会の一員になるので、若い人をまとめて盛り上げてください。それでは、皆さん、どうもありがとうございました。

勝山高校大同窓会総会報告

平成25年8月11日（日）午後2時30分より、勝山市教育会館において勝山高校同窓会総会が開催され、次の議案が上程決議され、新役員が下記のとおり承認決定致しました。

（議案）

- 第1号議案 平成24年度事業報告
- 第2号議案 平成24年度決算報告及び監査報告
- 第3号議案 平成25年度事業計画
- 第4号議案 平成25年度予算
- 第5号議案 規約改定
- 第6号議案 役員改選

勝高同窓会 平成25年度役員

会長	阿部 光郎	(45年卒)
副会長	木下 克則	(51年卒)
〃	山岸 登美子	(55年卒)
〃	白木 利明	(56年卒)
会計	竹内 登	(50年卒)
会計監査	荒井 由紀夫	(45年卒)
〃	山内 千鶴代	(55年卒)
幹事	鈴木 武彦	(勝山高校同窓会担当)
〃	松田 淳子	(勝山高校同窓会担当・63年卒)
常任理事	牧野 栄子	(49年卒)
〃	永井 正美	(50年卒)
〃	中山 弘之	(51年卒)
〃	大道 真知子	(51年卒)
〃	大道 慎治	(54年卒)
〃	岡田 妙子	(55年卒)
顧問	松村 龍二	(31年卒)
〃	山岸 正裕	(39年卒)
〃	小泉 信太郎	(39年卒)
〃	道下 賢祐	(勝山高等学校校長)



総務委員会では、クラス会及び県外の勝高会とのパイプ役として、同窓会開催通知を発送するなどのお手伝いをしております。（昨年も東京勝高会開催の際、同窓会本部より案内文を出させていただきました。）

皆様の大切な名簿は本部にて厳重に保管しております。個人情報の関係によりお出しする事はできませんが、皆様の中でクラス会、地域の勝高会開催のご意向がおありの際は、総務委員会まで、ご連絡、ご相談ください。



勝高同窓会は部活動の援助として本年度も勝山高校に対して金20万円を寄付させていただきました。



（7月16日、小泉会長より勝山高校 道下校長に金20万円が手渡されました）

さる平成25年7月16日、小泉会長、阿部副会長（当時役職）は、勝山高校を訪問し勝山高校に対し金20万円を寄付させていただきました。

この事業は今年で4回目を迎えました。これも、ひとえに会員皆様から頂いております会報協力金のおかげであり、今後もこの事業を継続し、勝山高校の活躍に期待し協力して参りますので、皆様方よりのご支援をよろしくお願い申し上げます。

なお、寄付金の行使については、学校側に一任しておりますが、本年度は、スキー部、バトミントン部、日本文化部に配分されました。

地質学と勝山高校、そしてジオパーク



国立大学法人 名古屋大学
大学院 環境学研究科教授
竹内 誠

(昭和55年3月卒業)

私は、地質学という分野の教育と研究を行っています。地質学は岩石や地層を調べて、地球がどのような歴史を経てきたのかを明らかにする学問です。地球が誕生した4億年前からのほとんどのことは歴史書に記録としては残っていません。その多くの記録はそれらを経験してきた岩石や地層に潜んでいます。それらの情報が欲しければ、私たち自身がそれらの分布している場所へ調査に行かなけばなりません。

私は、研究対象地の一つとして北アルプス地域を選びました。二五〇〇～三〇〇〇mの頂がそびえる急峻な地形の地域です。南は、槍ヶ岳から黒部川源流域、北は五竜岳から白馬岳、朝日岳地域を調査し、最近はついに日本海に到達しました。北アルプス地域は冬の到来が早くかつ雪解けが遅いため調査可能期間が短く、また道路が

ないため調査には時間がかかり、低地での調査に比べてかなり困難を伴います。

では、なぜあえて北アルプスなのでしょうか。それは、勝山高校時代に原点があるのかも知れません。勝山高校では山岳部に属していました。インターハイ予選や夏合宿では白山や別山、夏休みの北アルプス遠征、その他に法恩寺山や取立山など多くの山を登りました。頂上や稜線からの景色は、皆さんが感じるのと同じように様々な形や色があり、その美しい景色は感動を覚えるものです。ある日、頂上から見渡した大地は広大で、その中の自分は極めてちっぽけなものであることに気づきました。それと同時に、この広大な、しかも様々な形をした山々を創り出す力はどうほど大きなものか、またその力はどういうにして生み出されているのか、多くの疑問が私の



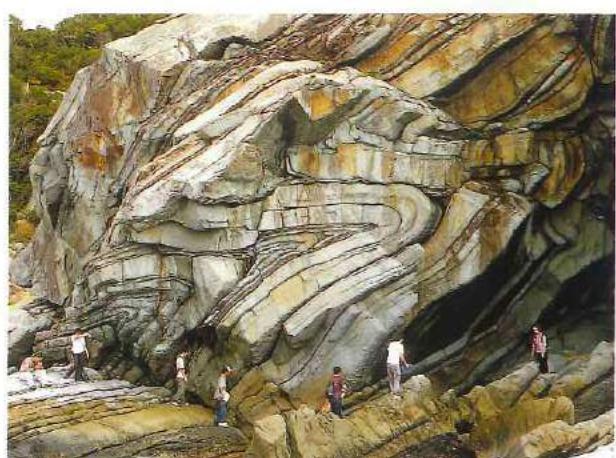
春山調査

残雪の春山での調査（富山県）。右が筆者



モンゴル調査

モンゴル人と日本人学生・教員による共同調査（ウランバートル周辺）。中央奥の手を挙げているのが筆者



地層の曲がり

大地の力で曲がった地層（和歌山県）

勝高バドミントン部 インターハイで躍動

(男子バドミントン部)

部員が一丸となり「明るく元気で」をモットーに練習に励んできた男子バドミントン部。そして、今年もインターハイの切符を手に入れ、9年連続の出場となりました。チームの試合スタイルとして、パワーが無いところを、ねばつて相手のミスを待ち、拾つてコースを狙うことで補っていますが、大会会場では空調の影響もあり、残念ながら初戦敗退となりました。そんな試合を振り返り、「伯仲した試合が想像以上にすばらしく、面白かった。」と語る佐々木抄吾キャプテンは、後輩たちの今後に期待をかけます。



インターハイの栄光を思い出の1頁に刻んだバドミントン部の皆さん

(こぼれ話)
業者の値引きが多い
購入に大きく貢献しての
ボーナムやシャトルの
購入にかかる中、同窓会の
費用は、ユニークには、
いきます。



勝高バドミントン部紹介

顧問	牧野 智幸 先生 (男子)
	森石 順 先生 (男子)
	小林 陽年 先生 (女子)
	野路奈智代 先生 (女子)
	川上志保美 先生 (男女)
部員	男子16人 女子17人 ※マネージャー2人含む
出身	勝山市内 21人 勝山市外 12人
学年	1年生 16人 2年生 10人 3年生 7人



②強豪相手に堂々プレーの山口さん

(女子バドミントン部)

インターハイで団体3位と輝かしい成績を掴んだ女子バドミントン部。「チームのみんながお互いを信じて一緒に頑張れるのが強みです。」と上田優利愛キャプテンは我がチームの魅力を称えます。

また、「ダブルスで仲間と共に接戦を制して優勝した事は、一生の思い出になります。」と胸を張る3年生部員たちは、みな誇らしげでした。



①輝かしい成績をつかんだ団体戦のメンバー

山口茜選手 優 勝 インターハイ女子単

福井県勢女子として初めて、バドミントン女子個人戦シングルスで、見事に全国制覇を成し遂げた山口さんは、「先輩たちはじめみんなの応援が力をくれました。でも、団体戦の銅メダル獲得は、個人戦の優勝以上に嬉しかったです。」と振り返ります。表彰式が終わった後には、約束した金メダルを先輩の首に掛ける場面もありました。

中国、台湾、ニュージーランド等へのナショナルチームの海外遠征では、使用する水はミネラルウォーターのみとして体調管理を大事にする姿勢が、良い成績に繋がっています。

「仕事で疲れているのに部活の練習に顔を出してくれる地元のコーチや、小さい頃からのプレー仲間がいる勝高バドミントン部に入部して、本当に良かつたです。」と笑顔で感想を語ってくれました。

山口茜選手、二〇二〇年開催の東京オリンピックには、メダル獲得を夢に頑張ってください。みんなで、応援します。

(写真①と②は、(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部様の許可を得て、転載しております。)

東京体育館で開催されたバドミントンの第32回ヨネックス・オープン・ジャパンで、山口茜さんが、日本勢で、また世界史上最年少の16歳で初優勝という快挙を成し遂げました。

同大会は、オリンピック、世界選手権に次ぐ格付けの国際大会であり、今大会では世界選手権第3位の選手、全日本社会人選手権の優勝者、世界ランク8位の選手といった格上の選手を倒して頂上を極めました。

速報!